

相模女子大学 日本学国際研究所と 学ぶ・知る・考える

2025.5.18 SUN vol.5

宮本 節子

相模女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科教授

相模女子大学日本学国際研究所副所長

vol.5

インバウンド時代の英語との付き合い方

—観光現場から見える日本の言語コミュニケーションの未来—

vol.6

スクリーンの裏側

—助監督から監督へ・金子修介の軌跡

2025.7.6 SUN

金子 修介

相模女子大学客員教授

映画監督

2025.9.28 SUN

風間 誠史

相模女子大学名誉教授

vol.7

江戸の戯作が観た「世界」と「日本」

vol.8

願えば叶うは本当か

2025.11.30 SUN

羽生 宏人

相模女子大学客員教授

JAXA 宇宙科学研究所教授

2025.5.18 SUN 14:00 - 15:30

vol.5

インバウンド時代の英語との付き合い方

—観光現場から見える日本の言語コミュニケーションの未来—

相模女子大学学芸学部英語文化コミュニケーション学科教授

相模女子大学日本学国際研究所副所長

宮本 節子



日本の観光現場での英語コミュニケーションは大きく変化しています。AI翻訳やネット検索が日常の一部となり、また世界中から実際に様々な目的や関心を持った方が訪れる中で、実際にはどんなやりとりが行われているのでしょうか？国内のさまざまな観光スポットで起きている出来事を読み解こうと試みたところ、意外にも、「正しい英語」より「伝わる工夫」の方が大切だったり、身振り手振りが思いがけない効果を発揮したり…。当日は、そうした観光の現場での発見をお話します。これからの時代に求められる英語コミュニケーションの姿が、従来の英語教育とは少し違う形で見えてくるかもしれません。

2025.7.6 SUN 14:00 - 15:30

vol.6

スクリーンの裏側

—助監督から監督へ・金子修介の軌跡—

相模女子大学客員教授

映画監督

金子 修介



ロマンポルノ、『1999年の夏休み』『毎日が夏休み』、平成ガメラ三部作とGMKゴジラ、『デスノート』『ゴールド・ボーイ』など、長年にわたって数々の秀作・話題作を創作してきた金子修介監督が、映画を志した若き日（1978年）から社会的・文化的な環境が激変する中で、どのように映画作りに向き合ってきたのか。自身の出発点を振り返った新著『無能助監督日記』（KADOKAWA）のエピソードや、実際の映画制作の経験談を交えながら、映画とその時代について思いのたけを語ります。

2025.9.28 SUN 14:00 - 15:30

vol.7

江戸の戯作が見た「世界」と「日本」

相模女子大学名誉教授

風間 誠史



江戸時代には様々な読み物が出版され、知られざる傑作？怪作？も色々あります。今回はその中から、主人公が「世界」に飛び出した物語を紹介します。「世界」の国々では、不老不死で皆が「死」に憧れています、男女が平等で、女性が出産するかわりに男性がつわりで苦しんだり…、そして最後にとてつもなく恐ろしい国に至って、主人公は「日本」へ逃げ帰ります。どんな恐ろしい国なのでしょう。海外渡航が禁止され、限定された「世界」の情報しかなかった時代の想像力に触れてみましょう。

2025.11.30 SUN 14:00 - 15:30

vol.8

願えば叶うは本当か

相模女子大学客員教授

JAXA 宇宙科学研究所教授

羽生 宏人



書店でふと巡りあった1冊の書籍「成功哲学」（ナポレオン・ヒル原著）は、私の思考の基盤を作ってくれた大切な1冊です。この書籍を手に取った頃の自分は、思ったことがどうにもうまく進められずに悩んでいました。どうやったら思い通りになるのか、という素朴な疑問を抱えて過ごしていた時に「成功哲学」という文言が目に留まったのだと思います。内容は実に明快で、なぜ自分が壁にぶつかっているのか、なぜ達成できないのか、その理由を理解するに足るものでした。良くある話ですが、人に貸したら戻って来ませんでした。どうしても欲しいと思い改めて購入し、以来何度も読み返しては目標の実現を目指し、していくつかの仕事は思った成果を得ることができました。もちろん今は誰にも貸すことなく大切に保管しています。

会場・アクセス

紀伊國屋書店新宿本店 3 階 アカデミック・ラウンジ

JR「新宿」駅 東口より徒歩3分

地下鉄丸の内線・副都心線・都営新宿線

「新宿三丁目」駅 B7 出口より徒歩1分（地下道より直結）



相模女子大学日本学国際研究所とは…

相模女子大学日本学国際研究所は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立っていては見えない日本を見つける、相模女子大学日本学国際研究所の成果にどうぞご期待ください。

相模女子大学日本学国際研究所 siijs@mail2.sagami-wu.ac.jp

相模女子大学 <https://www.sagami-wu.ac.jp/125th/>

研究所
HP



大学
HP

